

# 食品流通中に発見される害虫の 落下衝撃に対する破損特性の調査

## 成果の特徴

- 食品の流通中に混入した害虫はしばしば破損した状態で発見されます。
- 食品流通において、特に輸送中に想定される落下衝撃と虫体破損の関係を調べました。

## 成果の内容



食品流通において食品害虫が混入した場合、侵入時期や経路の特定が必要です。混入した害虫は、輸送中の荷扱いなどの衝撃により、破損した状態で見つかることが多くあります。そこで、昆虫の破損状況を一つの情報として活用できるか実験的に把握するため、昆虫種や死亡時期、落下衝撃の大きさによる虫体の破損特性について調査しました。

## 成果の活用

食品流通における、害虫侵入経路の把握に役立つ情報としての利用が期待できます。

### 関連文献

松元咲樹、北澤裕明、永田雅靖、宮ノ下明大（2020年2月），農業施設学会学生・若手研究発表会講演要旨集 p.8